

常任委員会活動の評価について

1 チェックシートによる評価

平成 31 年

3 月 4 日 (月) 予算決算常任委員会理事会

3 月 5 日 (火) 常任委員会 (戦略企画雇用経済、環境生活農林水産、医療保健子ども福祉病院)

3 月 6 日 (水) 常任委員会 (総務地域連携、防災県土整備企業、教育警察)

(1) チェックシートの項目を参考に、1 年間の委員会活動を振り返り、良かった点、改善すべき点等を委員間討議する。

(2) 委員間討議の後、正副委員長、各委員 (理事) がそれぞれチェックシートに評点等を記載して提出する。

2 委員会活動評価総括表について協議

3 月 7 日 (木) 常任委員会 (戦略企画雇用経済、環境生活農林水産、医療保健子ども福祉病院)

3 月 8 日 (金) 常任委員会 (総務地域連携、防災県土整備企業、教育警察)

3 月 13 日 (水) 予算決算常任委員会理事会

1 での議論とチェックシートによる評価結果を踏まえて協議し、「委員会活動評価総括表」を作成する。

3 委員長会議での報告及び確認

3 月 13 日 (水) 委員長会議

各委員長から、「委員会活動評価総括表」により、1 年間の委員会活動の評価を報告するとともに、委員長間で共有すべき取組等を確認する。

4 代表者会議への報告

3 月 14 日 (木) 代表者会議

議長から、委員会活動の評価も含め議会活動計画の実施状況を報告する。



改選後 (平成 31 年 5 月～)

5 改選後議会への申し送り

代表者会議に報告された平成 30 年度の議会活動計画の実施状況については、平成 27 年度からの実施状況と併せ、「4 年間を通した議会活動の評価及び次期改選後議会への提言」に取りまとめられ、次期改選後議会に申し送られる予定。

議会活動の中心的な役割を果たす各常任委員会において、委員会活動が「監視・評価・政策立案・政策提言」の充実に寄与できたかという観点から評価を行うためのチェック項目をまとめました。

今年度の委員会活動を振り返り、評価の視点を参考にして、委員(理事)の皆さんで自己評価を行っていただき、5段階評価をしてください。(但し、該当のない項目は評価しませんので、当該項目の評価欄には「-」をつけてください。)

【チェックシートを記入するにあたっての注意事項】

<p>■点数の基準</p>	<p>○委員個人の評価とします。</p> <p>○基準となる点数は「3点」とします。</p> <p>1点・・・「ほとんどできなかった」「不満足」</p> <p>2点・・・「あまりできなかった」「例年よりもできなかった」「やや不満足」</p> <p>3点・・・「通常どおりできた」「例年どおりできた」「普通」</p> <p>4点・・・「通常よりも良くできた」「例年よりも良くできた」「概ね満足」</p> <p>5点・・・「ほぼ完璧にできた」「十分満足」</p>
<p>■評価できない項目 (該当なし「-」)</p>	<p>○チェックシートを記入する前に、委員間で協議を行い、評価項目に含めるか否か(「-」とするか否か)を委員会として決めます。</p>

委員会名（ 総務地域連携常任委員会 ）

項目	評価の視点	評価
(1)年間活動計画の進捗度	年間活動計画の内容は適切なものでしたか。 重点調査項目について十分な調査・審査を行いましたか。 年間活動計画に沿って委員会活動を行いましたか。 (評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。) []	
(2)委員会運営の円滑度	すべての議案・事項を丁寧に調査・審査しましたか。 委員会で十分な議論をしましたか。 委員長報告が各委員の合意したものとなるように努めましたか。 (評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。) []	
(3)議員間討議の充実度	議員間討議の機会を十分に活用しましたか。 議員間討議を十分に行いましたか。 議員間討議を通じて合意形成を図るよう努めましたか。 (評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。) []	
(4)県内外調査の充実度	県内外調査の調査先は適切でしたか。 調査先で十分な調査を実施しましたか。 県内外調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。) []	
(5)県民など多様な意見を活用した調査・審査の充実度	「参考人招致」や「公聴会」における意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 「みえ現場de県議会」における県民の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 「みえ高校生県議会」における高校生の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 「請願」、「議員勉強会」、「県民の声」などにおける意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 (評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。) []	
(6)調査・審査結果の施策への反映	調査・審査の結果、施策へ反映したこと(例えば、経過報告を求めた、知事への申し入れを行った、議員提出条例の検討を行ったなど)について記載してください。 []	/

総務地域連携常任委員会活動評価総括表

1 委員会活動の振り返り（委員間討議の結果の概要を記載する）

・
・
・

2 各委員（理事）の評点の平均点

項目	評価の視点	平均点
(1)年間活動計画の進捗度	年間活動計画の内容は適切なものでしたか。 重点調査項目について十分な調査・審査を行いましたか。 年間活動計画に沿って委員会活動を行いましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) []	
(2)委員会運営の円滑度	すべての議案・事項を丁寧に調査・審査しましたか。 委員会で十分な議論をしましたか。 委員長報告が各委員の合意したものとなるように努めましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) []	
(3)議員間討議の充実度	議員間討議の機会を十分に活用しましたか。 議員間討議を十分に行いましたか。 議員間討議を通じて合意形成を図るよう努めましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) []	
(4)県内外調査の充実度	県内外調査の調査先は適切でしたか。 調査先で十分な調査を実施しましたか。 県内外調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。 (その他、評価の理由等(自由記載)) []	
(5)県民など多様な意見を活用した調査・審査の充実度	「参考人招致」や「公聴会」における意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 「みえ現場de県議会」における県民の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 「みえ高校生県議会」における高校生の意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 「請願」、「議員勉強会」、「県民の声」などにおける意見をその後の調査・審査に活用しましたか。 (評価点の理由や気づいた点があれば、記載してください。) []	

項目	評価の視点	平均点
(6)調査・審査結果の施策への反映	調査・審査の結果、施策へ反映したこと(例えば、経過報告を求めた、知事への申し入れを行った、議員提出条例の検討を行ったなど)について記載してください。	
	<div style="border: 1px solid black; height: 80px; width: 100%;"></div>	

※評価は5点満点です。(5点・・・大変良くできた、4点・・・良くできた、3点・・・概ねできた、2点・・・あまりできなかった、1点・・・できなかった)
 ※各項目の自由記載欄については、各委員個人の意見を掲載しております。

総務地域連携常任委員会 活動計画書（平成30年5月～平成31年4月）

平成30年6月29日現在

1 所管調査事項

- ・行財政の運営について
- ・地域振興の推進について
- ・スポーツの振興について
- ・県南部地域の活性化について

2 重点調査項目

- (1) 財政の健全化について
- (2) スポーツの振興について
- (3) 南部地域の活性化について

3 活動計画表

重点調査項目	平成30年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成31年 1月	2月	3月	4月
(1) 財政の健全化 について (2) スポーツの振興 について (3) 南部地域の活性化 について	常任委員会 所管事項 説明 (5/25)	常任委員会 所管事項の 調査等 予決分科会 関連予算議 案 (6/20, 22)	県内調査 (7/20)	県内調査 (8/8)	県外調査 (9/4～6)	常任委員会 議案の審査、所管 事項の調査等 予決分科会 補正予算等 (10/5, 10)	予決分科会 平成29年度歳入 歳出決算、所管事 項の調査（当初予 算編成に向けての 基本的な考え方） (11/1)	常任委員会 議案の審 査、所管事 項の調査等 予決分科会 補正予算等 (12/11, 13)			常任委員会 議案の審査、所管 事項の調査等 予決分科会 当初予算、補正予 算等 (3/●, ●)	
執行部の主な予定		成果レポー ト（案）				一般会計・特別会 計決算 平成31年度経営 方針（案） 当初予算編成に向 けての基本的な考 え方		当初予算要 求状況		当初予 算案	平成31年度経営 方針	

4 県内外調査について

(1) 県内調査

- 7月20日（日帰り） 三重とこわか国体・三重とこわか大会開催に向けた施設整備状況や総合型地域スポーツクラブの取組等の調査を行う。
8月8日（日帰り） スポーツを通じた地域活性化の取組や移住促進に向けた取組等の調査を行う。

(2) 県外調査

- 9月4日～6日（2泊3日） 平成31年度国体開催県の準備状況、移住促進や関係人口創出に向けた取組、中山間地域での人流・物流確保のための取組、財政健全化に向けた取組等の調査を行う。

総務地域連携常任委員会 活動実績書（案）（平成30年5月～平成31年4月）

平成31年3月6日現在

1 所管調査事項

- ・行財政の運営について
- ・地域振興の推進について
- ・スポーツの振興について
- ・県南部地域の活性化について

2 重点調査項目

- (1) 財政の健全化について
- (2) スポーツの振興について
- (3) 南部地域の活性化について

3 活動計画表

重点調査項目	平成30年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成31年 1月	2月	3月	4月
(1)財政の健全化 について (2)スポーツの振興 について (3)南部地域の活性化 について	常任委員会 所管事項 説明 (5/25)	常任委員会 所管事項の 調査等 予決分科会 予算等関連 議案 (6/20, 22)	県内調査 (7/20)	県内調査 (8/8) 常任委員会 議提議案の 審査(8/17)	県外調査 中止 (9/4～6)	常任委員会 議案の審査、所 管事項の調査等 予決分科会 予算等関連議案 (10/5, 10)	予決分科会 平成29年度歳入 歳出決算、所管事 項の調査（当初予 算編成に向けての 基本的な考え方） (11/1)	常任委員会 議案の審 査、所管事 項の調査等 予決分科会 補正予算等 (12/11, 13)		予決分 科会 補正予 算等 (2/22)	常任委員会 議案の審査、所管 事項の調査等 予決分科会 当初予算、補正予 算等 (3/6, 8)	
執行部の主な予定		成果レポ ート（案）				一般会計・特別 会計決算 平成31年度経営 方針（案） 当初予算編成に 向けての基本的 な考え方		当初予算要 求状況		当初予 算案	平成31年度経営 方針	

4 県内外調査について

(1) 県内調査

7月20日 三重とこわか国体・三重とこわか大会開催に向けた準備状況（霞ヶ浦テニスコート）や総合型地域スポーツクラブの取組（特定非営利活動法人ヴィアティンスポーツクラブ）等の調査を行った。
8月8日 スポーツを通じた地域活性化の取組（一般社団法人志摩スポーツコミッション）や移住促進に向けた取組（鳥羽市役所）等の調査を行った。

(2) 県外調査

9月4日～6日 台風第21号の接近に伴い中止した。

平成30年度の主な議会の取組（参考）

- 1 「障がい者の有無にかかわらず誰もが共に暮らしやすい三重県づくり条例」の
制定 <6月>
- 2 「三重県議会基本条例」の一部を改正 <6月>
大規模な災害その他の緊急事態への対応に関する規定を盛り込む
- 3 「大規模な災害等緊急事態への県議会の対応に関する検討会」の設置 <7月>
- 4 「成果レポート」に基づく今後の県政運営等に関する知事への申し入れ<8月>
- 5 みえ高校生県議会の開催 <8月>
- 6 「議会経費削減に関する検討プロジェクト会議」の設置 <9月>
- 7 公共政策大学院からのインターンシップ実習生の受入れ <9月>
- 8 議員勉強会の開催
・第1回 「これからの議会改革に問われるもの」 <10月>
廣瀬 克哉 氏（法政大学副学長）
・第2回 「災害時における議会・議員の役割と取組」 <12月>
鍵屋 一 氏（跡見学園女子大学教授）
- 9 みえ現場 de 県議会の開催 <11月>
・「ダイバーシティ社会の推進」

調査・審査結果の施策への反映に関する参考資料

- 1 平成30年版「成果レポート」・・・・・・・・・・ 1

- 2 各定例会月会議における委員長報告一覧 ・・・・・・・・ 2

「『平成30年版成果レポート』に基づく今後の『県政運営』等に係る意見」への回答

【総務地域連携常任委員会】

施策番号	施策名	主担当部局名	委員会意見	回答
242	地域スポーツと障がい者スポーツの推進	地域連携部 国体・全国障害者スポーツ大会局	週1回以上の運動・スポーツ実施率の目標達成に向け、30代から40代の実施率を向上させるための具体的な取り組みを進められたい。	目標達成に向け、県民の皆さんが気軽にスポーツに参加できる環境づくりを進めるとともに、例えば、駅から歩くことも運動であるといった、運動を意識していただく啓発に取り組んでいきます。 また、今年度開催したブラッシュアップ懇話会において、外部有識者からいただいた「実施率が低い層を重点的に、的確な原因分析を行うこと」などの意見も参考に今後の対策を講じます。 さらに、県内各地でさまざまなスポーツイベントが盛んに行われることにより、県民の皆さんがスポーツに親しむ機会が増えるよう、市町や関係団体等の実施主体と十分な連携・情報共有を図っていきます。
352	公共交通の確保と活用	地域連携部	南部地域の高校生を対象としたアンケート結果で、住んでいる地域が好きではない理由や今の地域から転出する理由の上位に、生活・交通が不便という項目があることも十分認識したうえで、生活交通の維持確保に取り組まされたい。	利用者の減少に伴うバス路線の廃止や縮小により、県南部を始め、県内では交通不便地が拡大しています。 このため県はバス事業者や市町の公共交通会議等と連携し、高校生や高齢者を対象とした利用促進やデマンド型交通の導入など、地域の実情に沿った対策を検討し、実践に移しているところです。 引き続き、県内の生活交通の維持確保に向け、積極的に取り組んでいきます。
354	水資源の確保と土地の計画的な利用	地域連携部	地籍調査が進まないと南海トラフ地震等の大規模自然災害が発生した際、迅速な復興の妨げになることから、県も市町も危機意識を高め、市町の調査推進に対する理解が深まるよう取り組まされたい。	市町には、地籍調査が重要であると理解していただいておりますが、南海トラフ地震や土砂災害の被害が想定される地域を重点的に進めていくという県の考え方についても、さらに理解を深めていただくよう取り組んでいきます。

各定例会月会議における委員長報告一覧

12月 常任委員会（12/20）

「競技力の向上」について

2021年に開催される三重とこわか国体に合わせ、ジュニア・少年・成年の各世代に応じた育成・強化や、県内企業等の協力による選手の受け入れ促進、優れた指導者の養成・確保など、競技力向上に向けた取組が進められているところです。県当局におかれては、これらの取組については、三重とこわか国体での本県選手の活躍に資するものであることはもちろんですが、国体開催後も、国体開催による無形のレガシーとして、競技力の維持、そして、さらなる向上にがる取組となるよう要望します。